

# からだのしくみを知ろう

## 血液の三つの役割

臨床検査技師 甲斐 美矢子

今回は血液のお話です。血液は、人間の体内を巡る血管内を流れる体液です。

血液は体重の約13分の1を占め、たとえば、70kgの男性であれば、約5kgが血液の重さとなります。血液には三つの大きな役割があります。一つ目は、酸素や栄養分や免疫物質などを全身に

運ぶ、体内でいらなくなったものを外に出すという運搬という役割。二つ目は、怪我をして出血したときに出血を止める、細菌などの異物を体から外に排除する防御という役割。三つ目は、体温を一定に保つ、体内の浸透圧を一定に保つ等の、体内環境の維持です。血液の中身は、赤血球・白血球等の血球成分と栄養素やホルモン、不要物を運ぶ血しょう成分(液体成分)とに分かれます。血球成分を調べることで貧血や免疫機能がわかります。血しょう成分を調べることで体内の栄養素やホルモンの量を調べることができます。このように、血液からは、たくさんの情報が得られるのです。

血液の成分

